

## 令和4年度 調査概要

# 栗窪・林窪遺跡、東富岡・太窪遺跡、 東富岡・中島遺跡

山北町 No.71 遺跡



1. 中世 掘立柱建物跡



2. 中世 竪穴状遺構



3. 中世 地下式土坑



4. 中世 土坑出土遺物

### ● 主な調査成果

栗窪・林窪遺跡では中世の掘立柱建物跡、竪穴状遺構、地下式坑、井戸跡、土坑、区画溝などの遺構が多数発見されました。遺物はそれほど多くありませんが、13世紀～16世紀の土器・陶磁器類のほか、木製品・石製品・金属製品・銭貨・鉄滓が出土しています。遺跡は低地際に立地していることもあって木製品の残りが良く、荷駄鞍・下駄・田下駄・曲物・漆が塗られていない皿などが見つっています。これらの木製品については、どのような木材が利用されていたのかを明らかにするために樹種同定分析を行っています。

- 調査期間 2010年10月1日～2014年6月15日  
2016年5月1日～2016年6月15日  
2017年12月1日～2018年5月15日  
2019年10月1日～2019年10月31日

- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

- 時代 近世・中世、奈良・平安、古墳、縄文、旧石器

- 所在地 伊勢原市東富岡、栗窪

- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅から北に約2Kmの台地上および低地際

